様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

２０２１年　６月　２９日

愛　知　県　知　事　殿

届出者
住　所　愛知県刈谷市小垣江町北高根１１５番地
氏　名　小林クリエイト株式会社
代表取締役　小林友也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０５６６－２６－５３９０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、　２０２０年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	小林クリエイト株式会社　本社工場
事業場の所在地	愛知県刈谷市小垣江町北高根１１５番地
事業の種類	１５　印刷・同関連業
産業廃棄物処理計画における計画期間	２０２０年４月１日～２０２１年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	812.7 t	全処理委託量	812.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	262 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	592.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

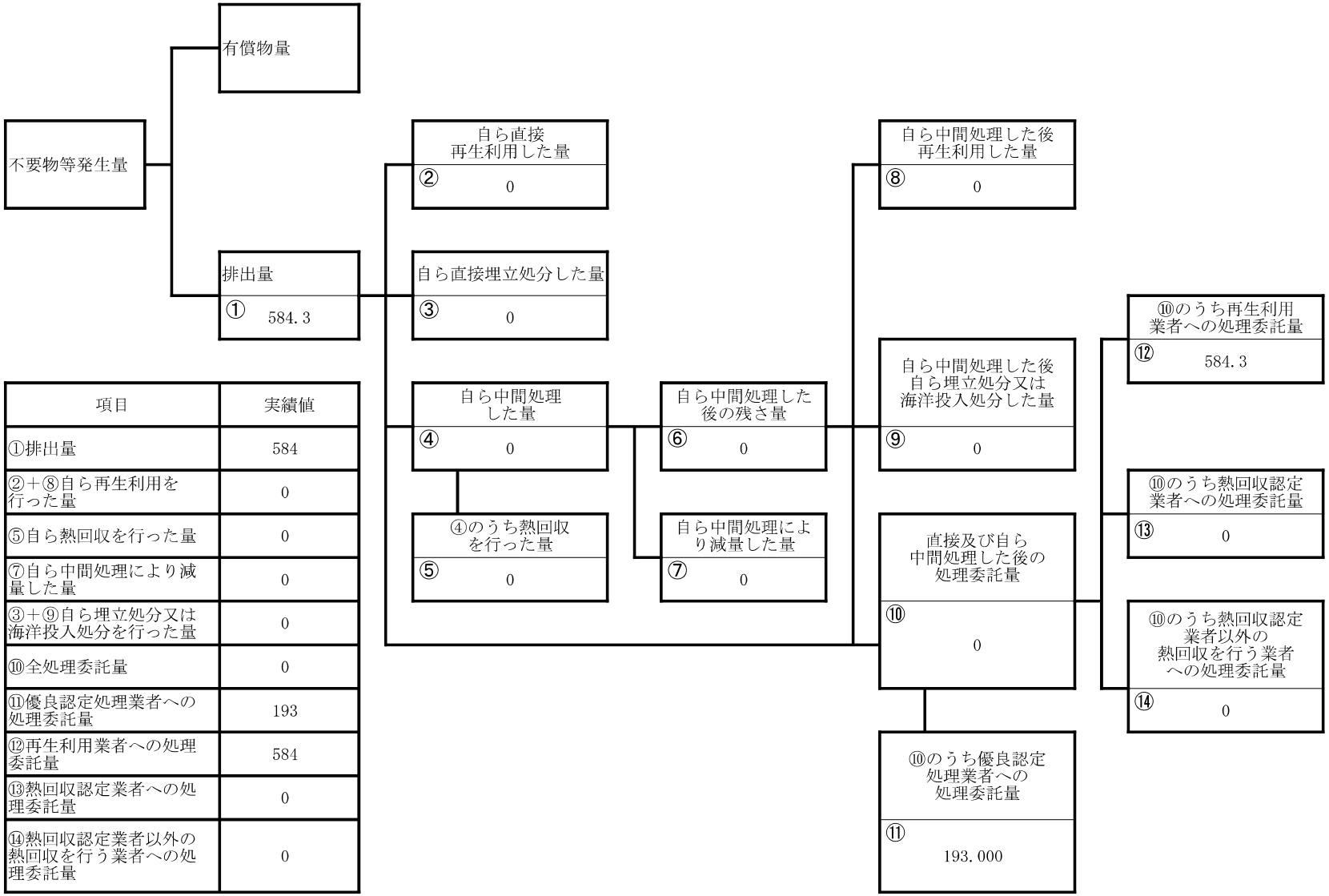
前年目標値 前年資料①
前年目標値 前年資料②
前年目標値 前年資料②
前年目標値 前年資料②

※事務処理欄

（日本工業規格　Ａ列４番）

計画の実施状況

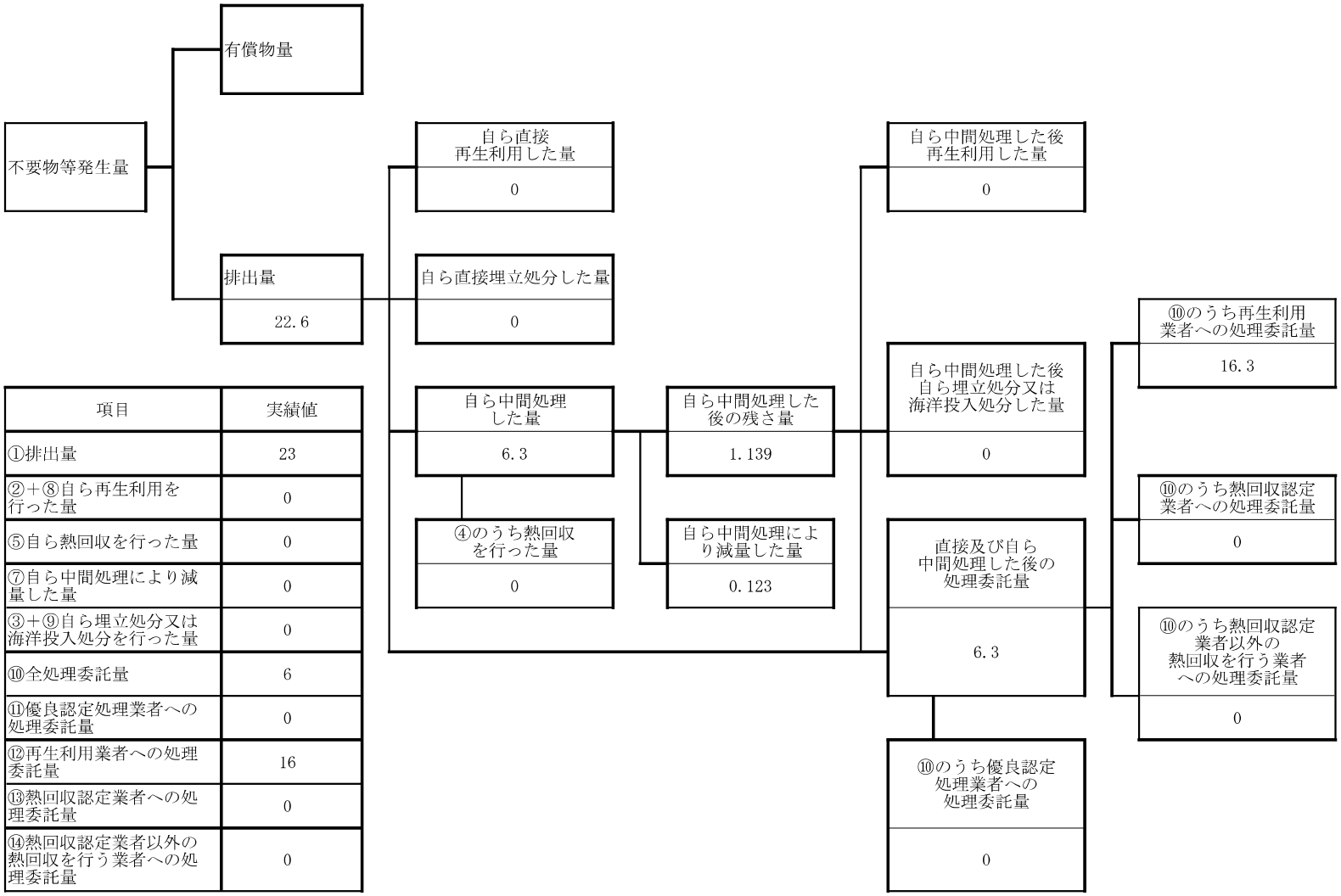
（産業廃棄物の種類：　紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	584
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	193
⑫再生利用業者への処理委託量	584
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

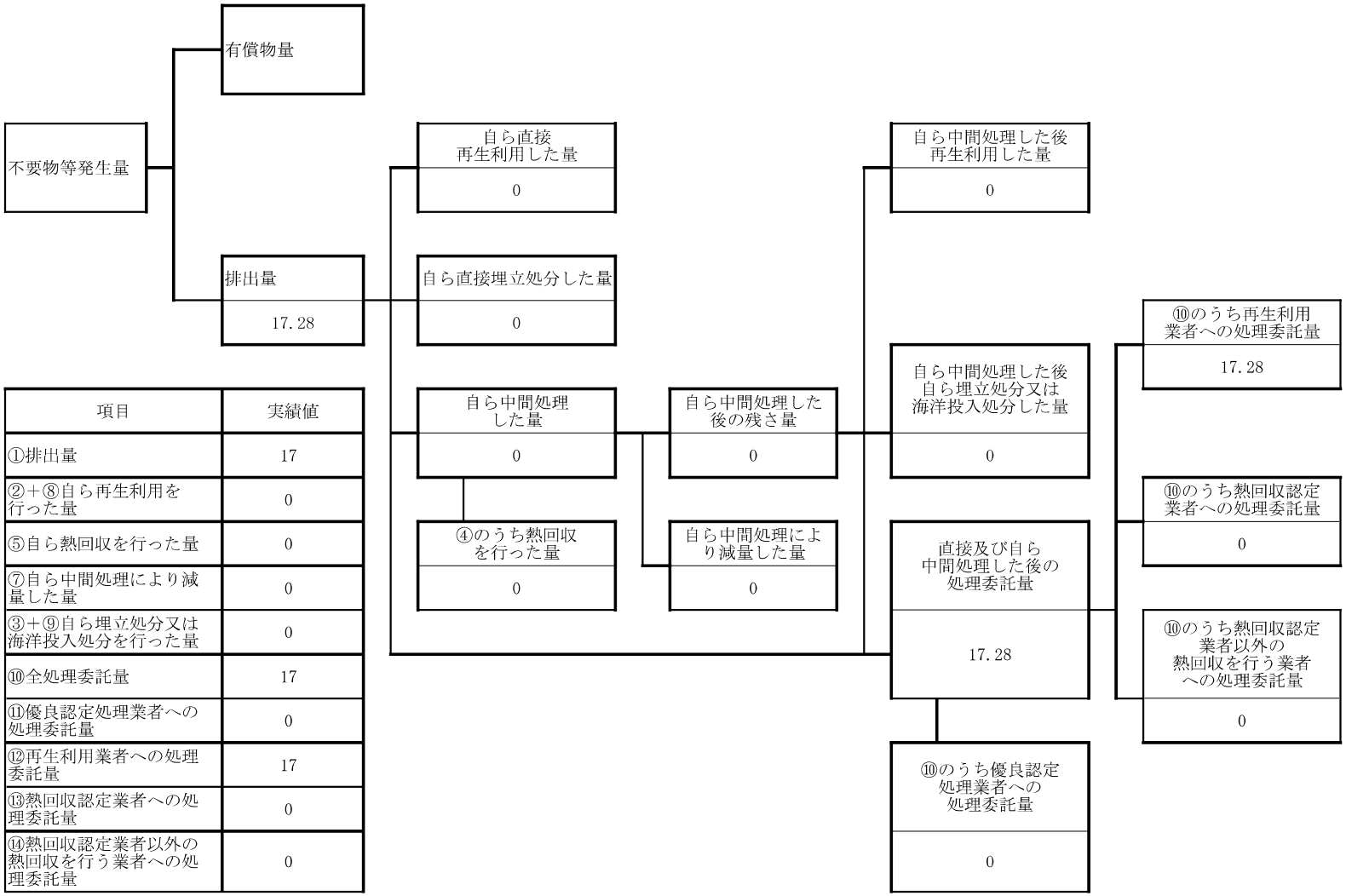
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	16
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

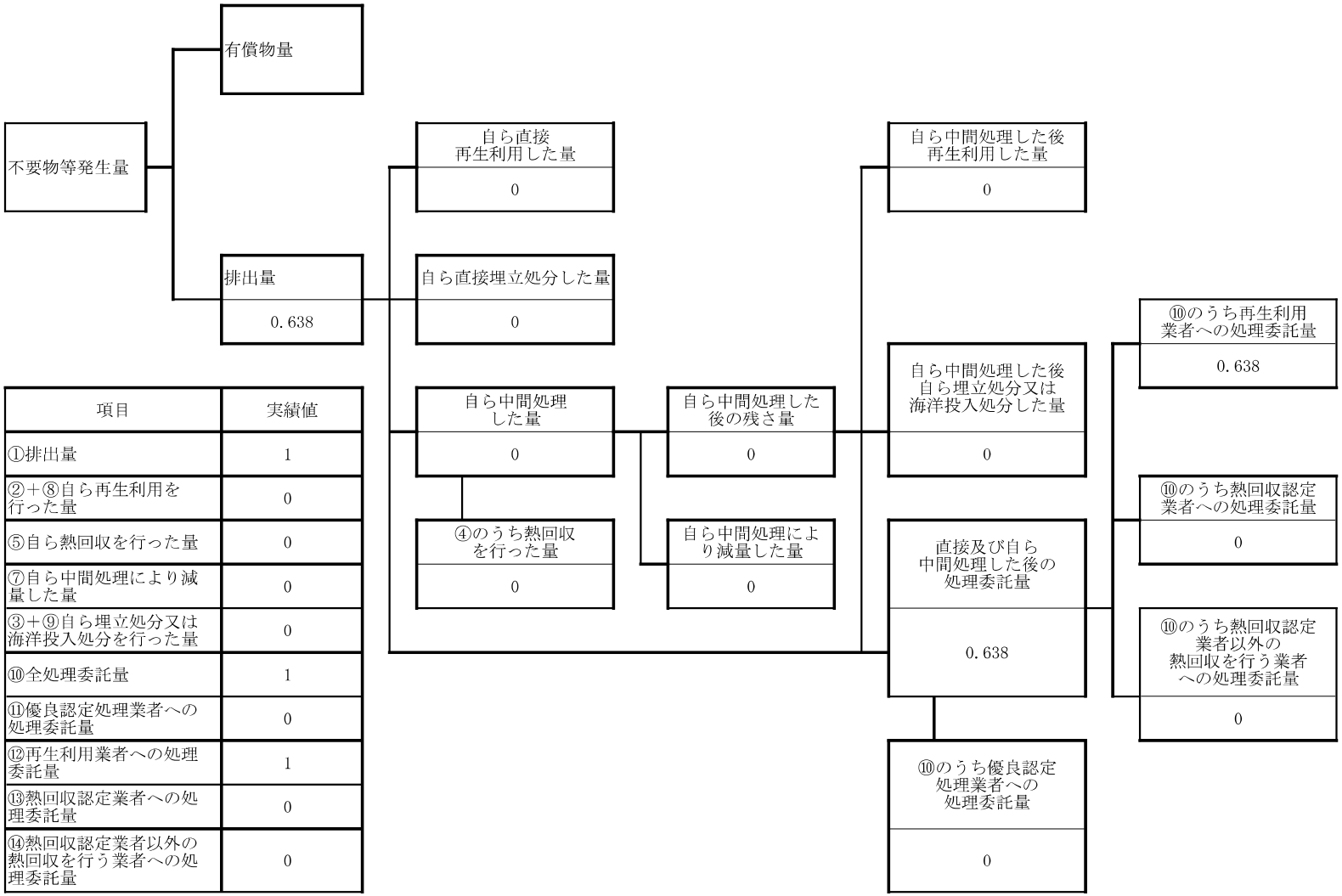
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック　）



項目	実績値
①排出量	17
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	17
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	17
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

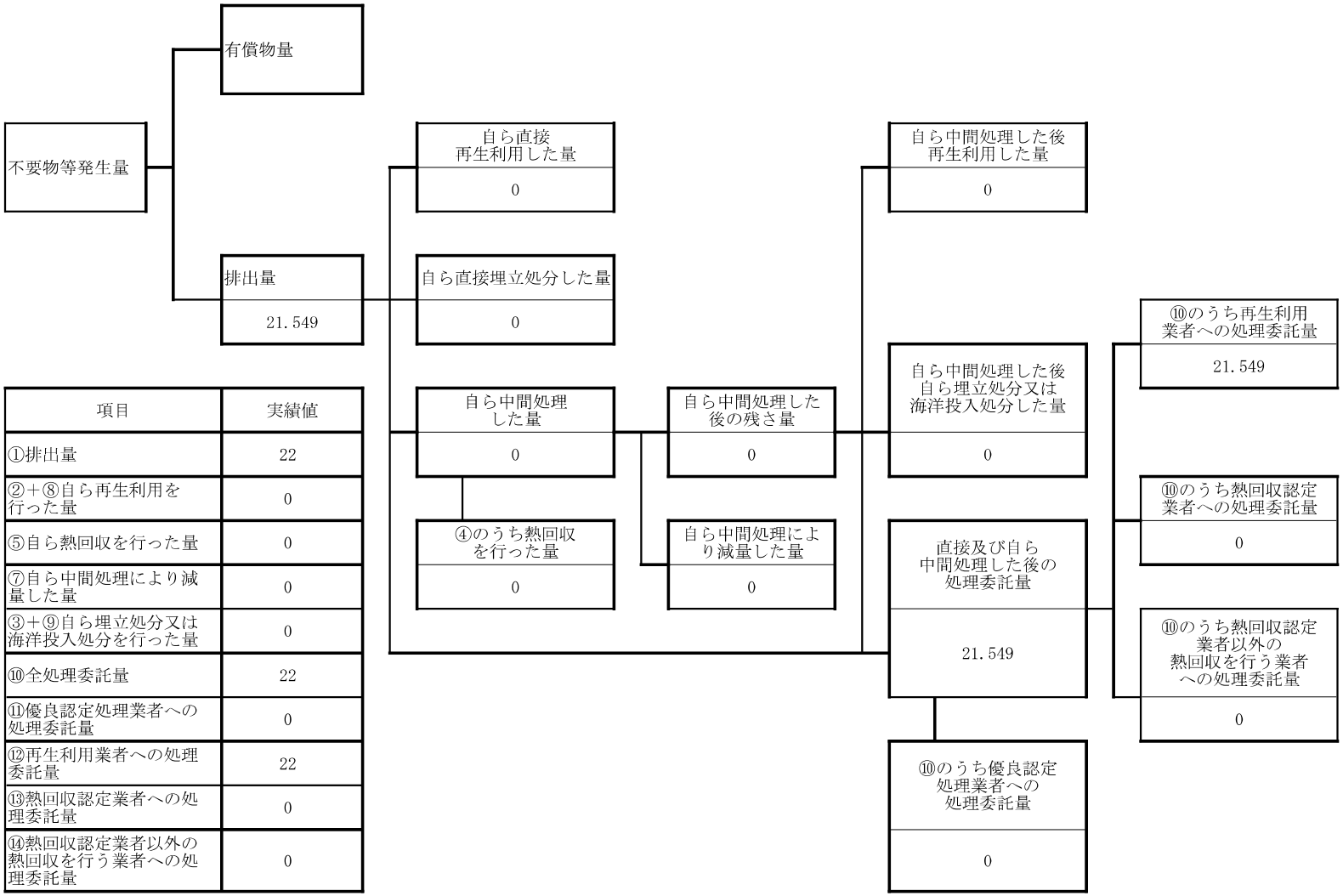
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃酸　　）



項目	実績値
①排出量	1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

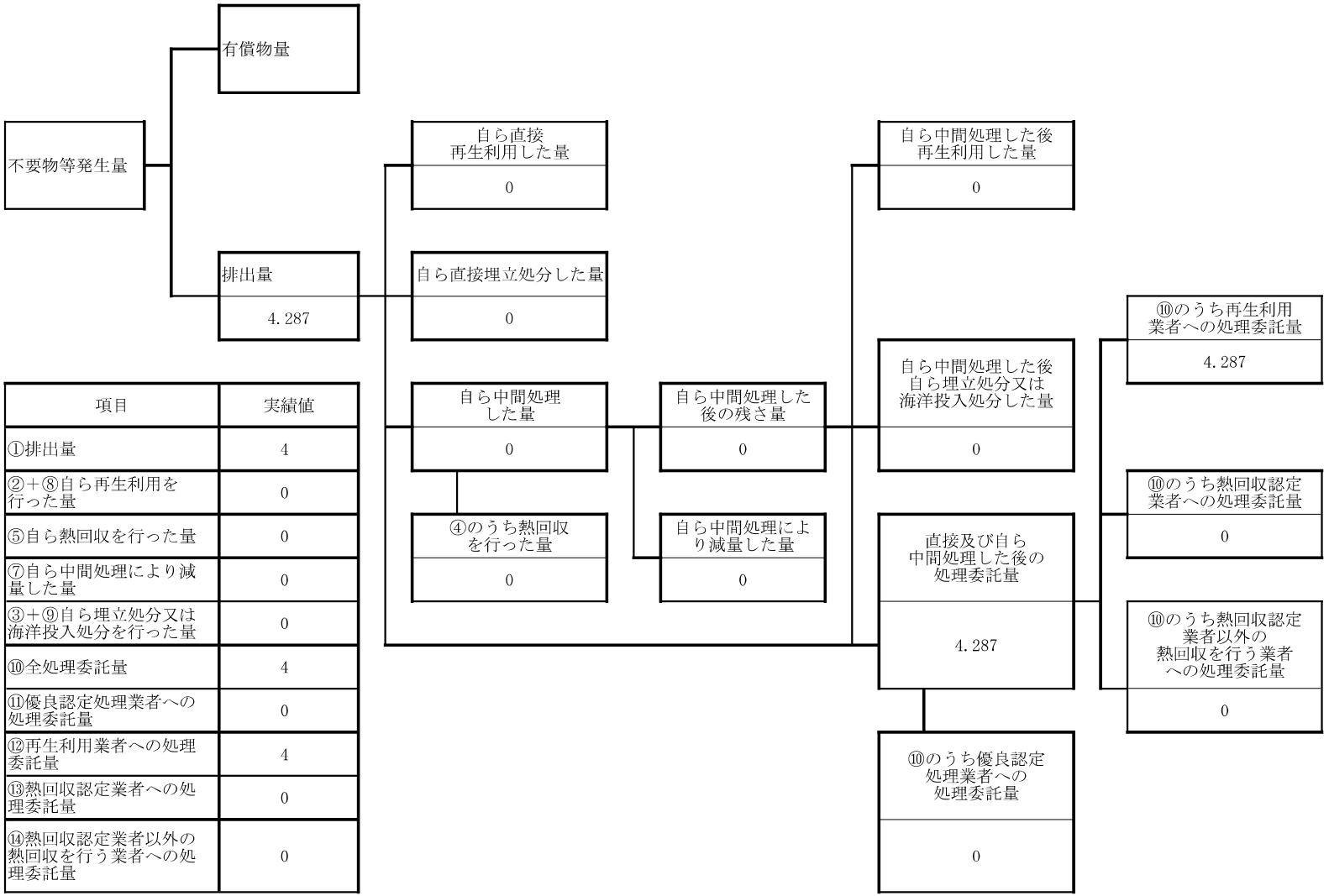
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（廃液）　　）



項目	実績値
①排出量	22
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　廃油　）

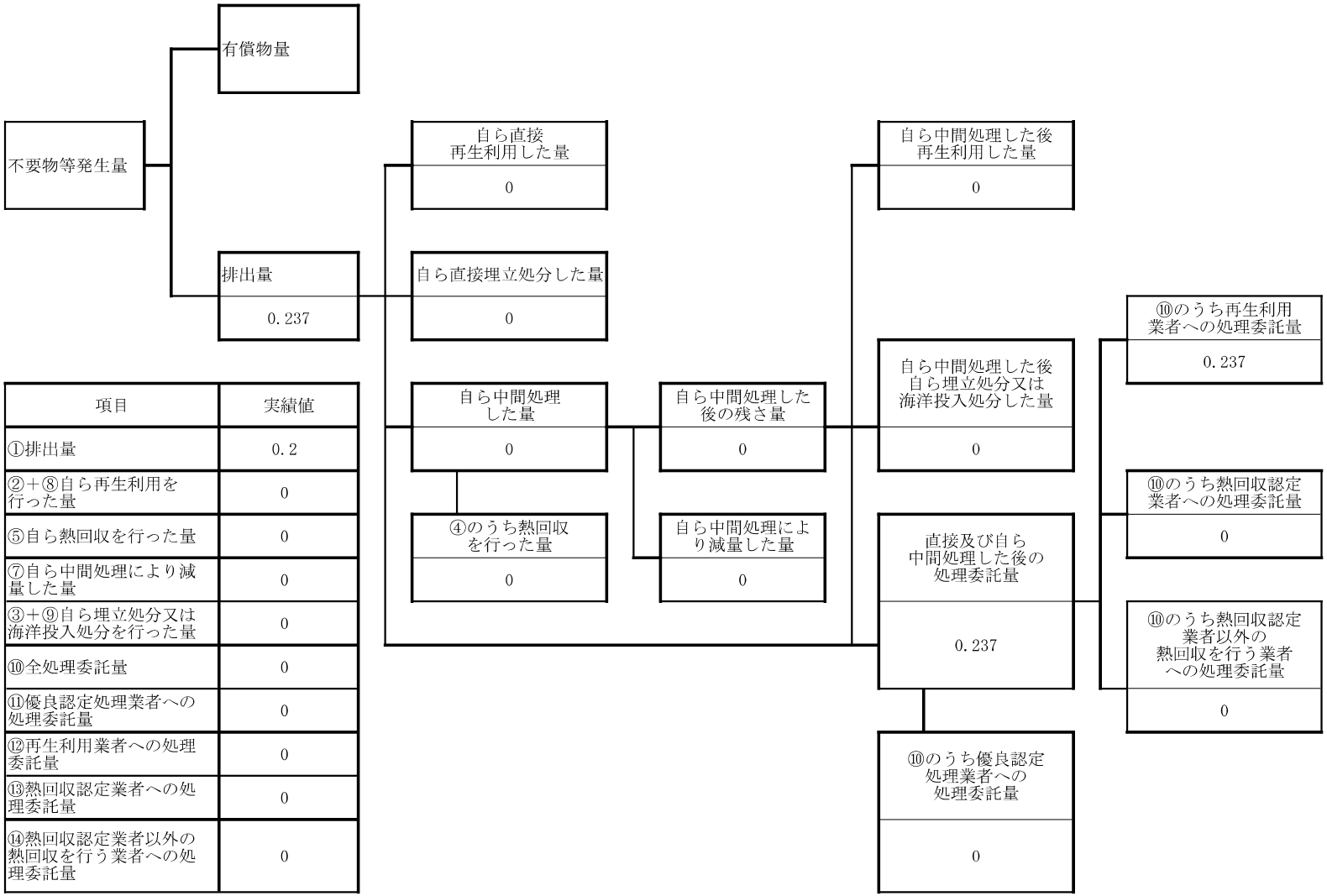


項目	実績値
①排出量	4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス（蛍光灯）　　）

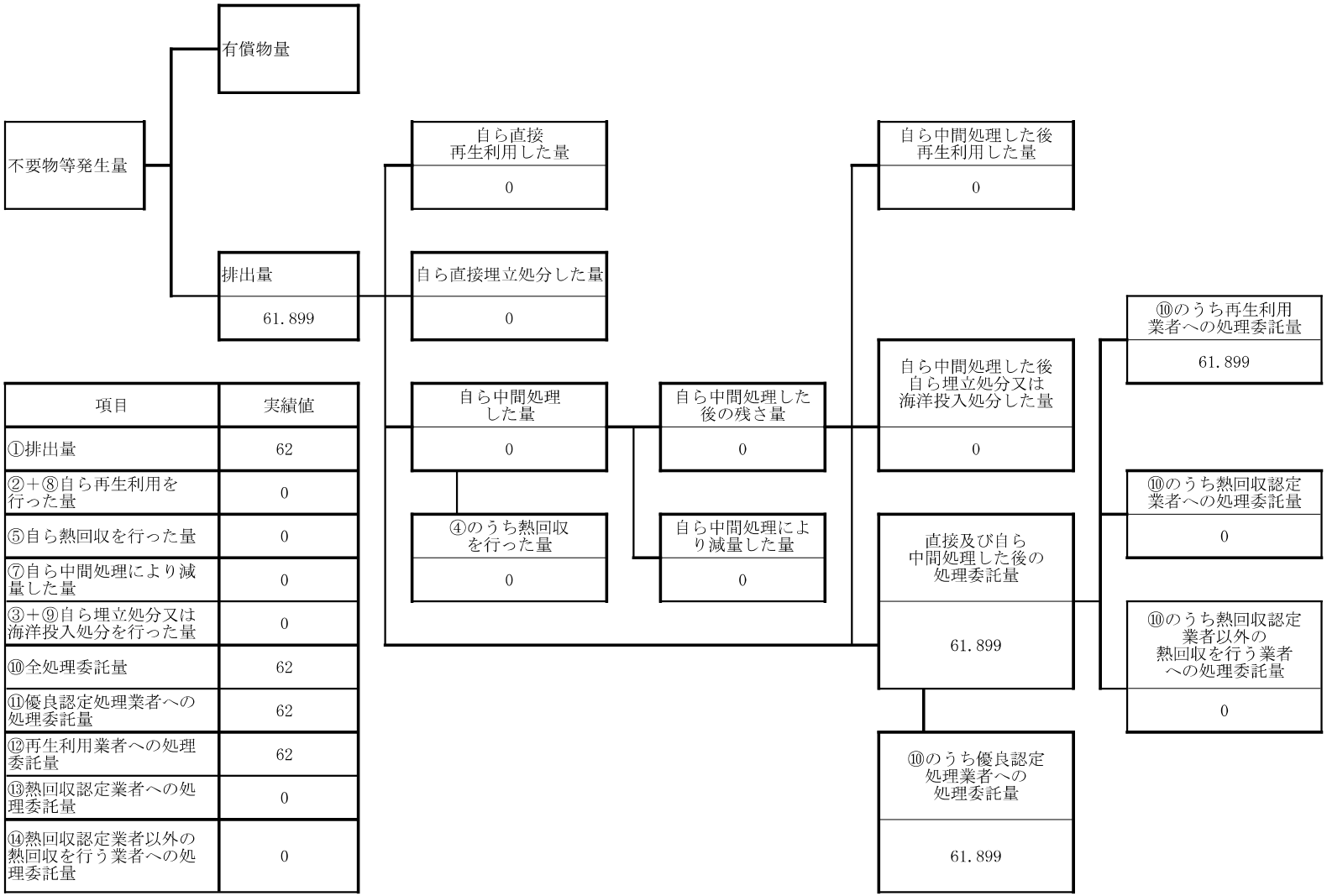


項目	実績値
①排出量	0.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・電気製品・陶磁器　　）

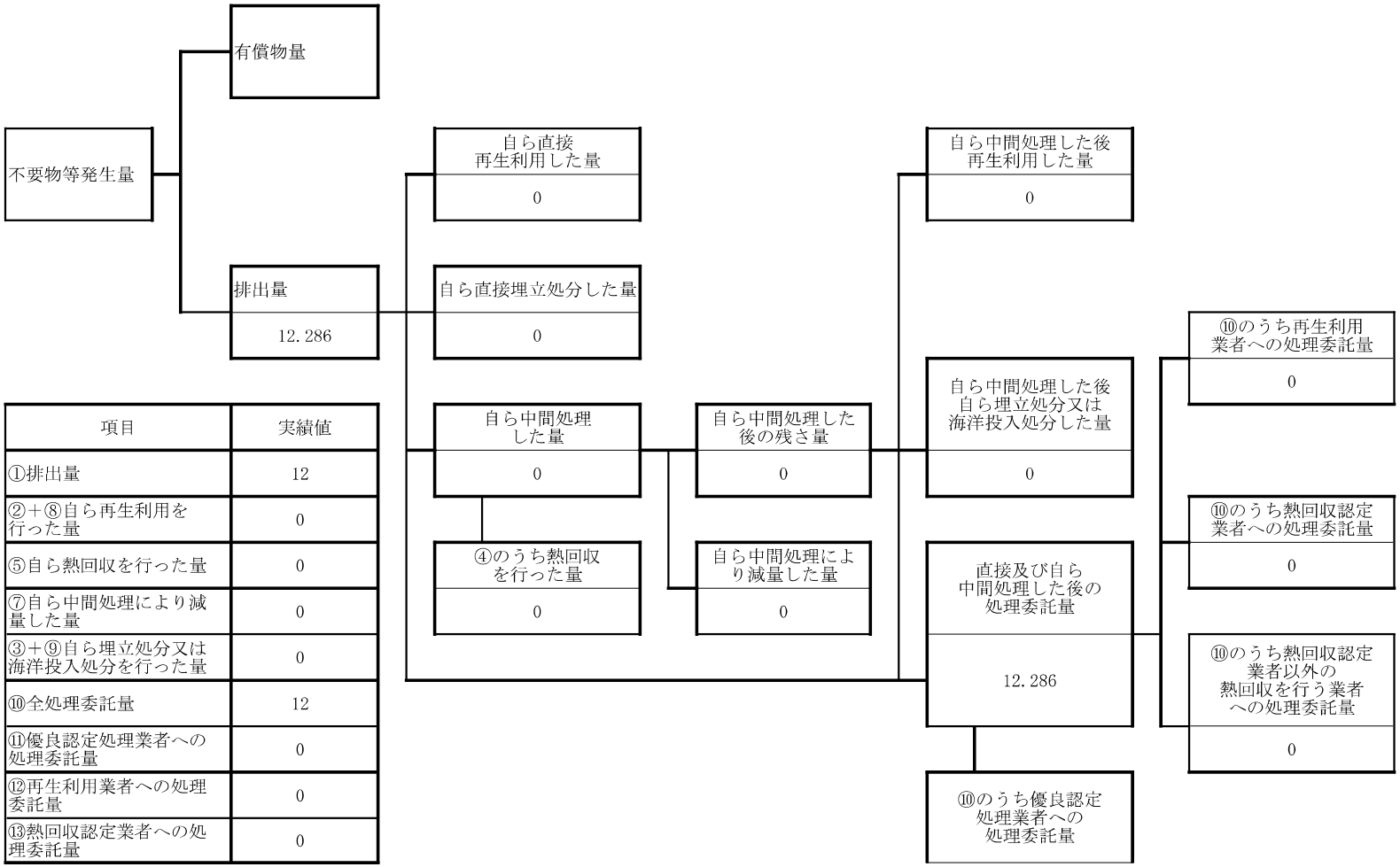


項目	実績値
①排出量	62
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	62
⑪優良認定処理業者への処理委託量	62
⑫再生利用業者への処理委託量	62
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（インキ・糊）　　）

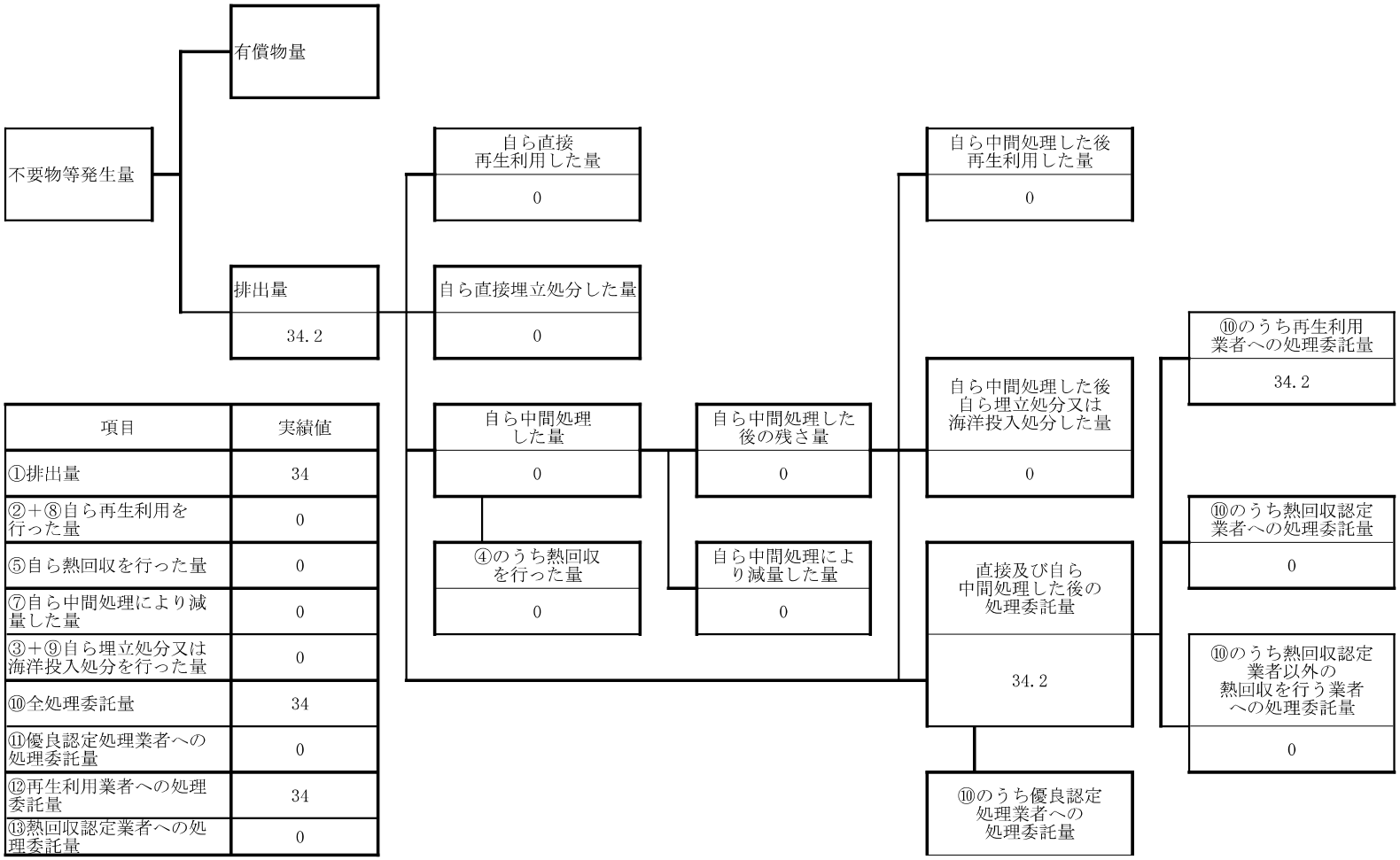


項目	実績値
①排出量	12
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　　）



項目	実績値
①排出量	34
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0

（第２面）

（第３面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

資料①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

<table>
<tr><td rowspan="4">1　現状</td><td></td><td colspan="11">【前年度（２０２０年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>紙くず</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ</td><td>廃酸</td><td>廃ｱﾙｶﾘ（廃液）</td><td>廃油</td><td>ガラス（蛍光灯）</td><td>ガラス電気製品陶磁器</td><td>廃ｱﾙｶﾘ（ｲﾝｷ・糊）</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">排　出　量（ｔ）</td><td>584.330</td><td>22.60</td><td>17.280</td><td>0.638</td><td>21.549</td><td>4.287</td><td>0.237</td><td>61.899</td><td>12.286</td><td>34.2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="12">（これまでに実施した取組）
製造工程における原材料の歩留まり向上の取組と印刷ロス・クレームの削減を継続して推進している。（紙くずの削減）
黒びんの分別を実施し再利用できる取組を行った。（埋め立て量の削減）
再利用できる乾電池（マンガン電池）とできない乾電池の分別を行った。（埋め立て量の削減）
20 種類の分別基準による分別を行っている。（担当部署による分別の徹底を監視している）
23 年度までは汚泥の約５分の１の脱水汚泥を焼却に回していいたが、 24 年度の途中より、焼却から改質分級の処分で焼却を減らし、地球環境に貢献することができた。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">②計画</td><td></td><td colspan="11">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>紙くず</td><td>汚泥</td><td>廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ</td><td>廃酸</td><td>廃ｱﾙｶﾘ（廃液）</td><td>廃油</td><td>ガラス（蛍光灯）</td><td>ガラス電気製品陶磁器</td><td>廃ｱﾙｶﾘ（ｲﾝｷ・糊）</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">排　出　量（ｔ）</td><td>580.000</td><td>22</td><td>17</td><td>0.6</td><td>21</td><td>4</td><td>0.2</td><td>61</td><td>12</td><td>34</td></tr>
</table>

		（今後実施する予定の取組） これまでの取組を継続し推進することで削減を図る。

資料②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1　現状	【前年度（２０２０年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ（廃液）	廃油	ガラス（蛍光灯）	ガラス電気製品陶磁器	廃ｱﾙｶﾘ（ｲﾝｷ・糊）	木くず
	全処理委託量（ｔ）	584.330	22.60	17.280	0.638	21.549	4.287	0.237	61.899	12.286	34.2
	優良認定処理業者への処理委託量	193.582	0	0	0	0	0	0	61.899	0	0
	再生利用業者への処理委託量	390.748	22.60	17.280	0.638	21.549	4.287	0.237	61.899	12.286	34.2
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	（これまでに実施した取組） 再利用業者へ委託している。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	廃酸	廃ｱﾙｶﾘ（廃液）	廃油	ガラス（蛍光灯）	ガラス電気製品陶磁器	廃ｱﾙｶﾘ（ｲﾝｷ・糊）	木くず

	全処理委託量（t）	580.000	22	17	0.6	21	4	0.2	61	12	34
	優良認定処理業者への処理委託量	190	0	0	0	0	0	0	61	0	0
	再生利用業者への処理委託量	390	22	17	0.6	21	4	0.2	61	12	34
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		（今後実施する予定の取組） 優良認定処理業者への切り替えを検討する。委託先処理業者には、定期的に実地確認を実施する。									